

認知グループ 平成 28 年度 第 2 回 議事録

【年間テーマ：抑制を減らす為に】

平成 28 年 6 月 18 日提出

日付	平成 28 年 6 月 11 日 (土)			
場所	天神福岡ビル		記録者名：古我城 真由美	
出席者 (敬称略)	有吉病院 准看護師 西崎 順一	大牟田共立病院 介護福祉士 古我城 真由美	北九州古賀病院 介護福祉士 古川 由貴	北九州八幡東病院 介護福祉士 吉田 麗子
	シーサイド病院 看護師 浦田 真由美	津屋崎中央病院 介護福祉士 大森 雄樹	東福岡和仁会病院 介護福祉士 別府 憲一	福岡会南病院 介護職 大見 和也
	緑ヶ丘病院 看護師 宮川 晶			
テーマ	抑制の原因と現状			
結論	現状として、医療行為を円滑に行う為・不穏時等患者様の安全を守る為に抑制がおこなわれている。抑制は必ずしも認知症患者様に対してだけ行われているわけではない。抑制の内容として、センサーマット・緩和マット・ミトン・ツナギ・Y字帯・4点柵・巨大枕等でリスク予防をされていた。			
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・年間テーマを「認知症患者様に対する抑制について」から「抑制を減らすために」に変更 ・8月のテーマは「スピーチロック」 			
備考	リーダー北九州古賀病院の古川由貴さんに担当して頂きました			
次回討論項目	スピーチロックに関する現状・自分の病院での取り組みなどを持ち寄る。			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

FAX. 092-691-3961

E-mail info@fukuokakenryo.jp